

[No. 14] 電子制御式スロットル装置を用いた筒内噴射式ガソリン・エンジンに関する記述として、  
不適切なものは次のうちどれか。

- (1) インジェクタには、高電圧大電流に対応した低抵抗コイルが内蔵されており、作動確認などでバッテリー電圧を直接印加するとコイルが溶損するため、インジェクタにバッテリー電圧を直接掛けてはならない。
- (2) リーンNOx触媒のうち選択還元型のものは、リーン（希薄）燃焼時には、NOx吸蔵物質にNOxを蓄えておき、理論空燃比運転時に濃くし、排出ガス中のCO、HC等を利用してNOxを還元する。
- (3) 低速トルク向上制御では、吸入行程と圧縮行程の2回で燃料を噴射して燃焼（1回目の噴射は自己着火しない程度のリーンな空燃比で、空燃比の合計は15～23程度）させている。
- (4) アクセル及びスロットルの各センサ信号は二重系統になっており、また、異常を検出したときは、退避走行が可能となる程度に吸入空気の流量を制御している。

---

**答（2）**

（2）の文章は、トラップ型の説明

選択還元型のものは、リーン（希薄）燃焼時に活性層でHCを使用してNOxを還元する。